

自閉症が文化をつくる

竹中 均

パラドクスを生きる人々

伊藤若冲やチューリングが生み出した文化には、不思議な共通点がある。人間が創造する文化には、時代と場所を超えて自閉症的な側面があるのではないか。文化史の地層から「自閉文化」の鉱脈を掘り起こし、「健常」な近代を問い直す斬新な試み。

本書の内容

はじめに

第1部 自閉症がつくる文化

- 第1章 若冲からチューリングへ
- 第2章 常数としてのマニエリスムと自閉症
- 第3章 自閉症とは何か
- 第4章 「自閉文化」の特徴

第2部 世界はそもそもパズルである

- 第5章 迷宮と蒐集——ルドルフ二世とアルチンボルド
- 第6章 「不思議の国」は「驚異の部屋」——ルイス・キャロルとアリス
- 第7章 名探偵・妖精・心霊——コナン・ドイルとホームズ
- 第8章 点と線——エリック・サティの奇想の音楽
- 第9章 缶詰が並んでいる——アンディ・ウォーホルの凍りついた宇宙
- 第10章 パズルと対位法——グレン・グールドの録音スタジオ
- 第11章 マシンと夢——村上春樹のジグソー・パズル
- 第12章 コンビニ空間——村田沙耶香と「世界の部品」
- 第13章 「おひとりさま」の可能性——上野千鶴子の「離脱の戦略」
- 第14章 ゲームと機械——榎宮祐のライトノベル異世界

第3部 ずれた世界でよりよく生きる

- 第15章 『アリス』のパラドクス——自己言及を字義通り生きる
- 第16章 笑いのワンダーランド——二つの世界
- 第17章 自閉症から認知症へ——プロセスと崩れ

おわりに



竹中 均 (たけなか ひとし)

1958年生れ。
早稲田大学文学学術院教授。
専門は社会学。博士(人間科学)。
『「自閉症」の時代』講談社現代新書、
『精神分析と自閉症』講談社選書メチエ、
『自閉症とラノベの社会学』晃洋書房、
などの著書がある。

■トーハン、日販、楽天ブックスネットワーク、子どもの文化普及協会 経由にてお送りいたします。
トーハン、日販、楽天ブックスネットワークの場合、返品はフリーでお受けいたします。(了解者：朝加)

『自閉症が文化をつくる』竹中 均 著		世界思想社用 コード		書店印
定価 2,530円 (10%税込) 2023年3月刊行				
四六判・並製/270頁 ISBN978-4-7907-1775-1				
お名前	ご注文冊数	冊		
		〒606-0031 京都市左京区岩倉南桑原町56 電話：075-721-6500 FAX：075-721-8707		